かほく
ワークシート

問　題

①宮城県がブランド米として開発した新品種の名前を書きましょう。

②新品種の名前から連想される仙台藩祖の名前を書きましょう。

③記事の中で鎌田さんは、新品種のお米の特徴（食感と味）についてどのように話していますか。

（小学５年以上／社会）

だて正夢 期待込め

本格販売スタート

宮城県が高価格帯のブランド米として開発した新品種「だて正夢」の本格販売が24日、県内の百貨店やスーパーで始まった。

仙台市青葉区の仙台三越は、地下1階の食品売り場に特設コーナーを設置。午前10時の開店と同時に、新銘柄の本格デビューを待ちわびた人たちが次々と買い求めた。

同区の無職鎌田ユキ子さん（89）は家庭用のほか、大阪府の親類への贈答用も購入。「今までの宮城のお米にはないもちもちした食感で甘みが強い。食べるのが楽しみ」と話した。

仙台三越では2キロ入りと5キロ入りを販売し、価格はそれぞれ1365円（税込み）、3050円（同）。各300袋を準備した。

県は2018年産だて正夢を約301トンで作付けし、約1500トンを県内と首都圏で販売する。

待望の新銘柄米「だて正夢」を買い求める客＝24日午前11時20分ごろ、仙台市青葉区の仙台三越

出題者から

仙台藩祖をほうふつとさせる名前には「宮城らしさ」と、みやぎ米のブランド価値を高め「食卓の天下を取る」という願いが込められているそうです。品種改良や品質向上など、米作りに携わる人々の工夫や努力のおかげで、私たちはおいしいご飯が食べられるのですね。

（日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市七北田小教諭　今藤正彦）

11月11日付「かほくワークシート」の模範解答

① 宮城県がブランド米として開発した新品種の名前を書きましょう。

だて正夢

② 新品種の名前から連想される仙台藩祖の名前を書きましょう。

伊達政宗

③記事の中で鎌田さんは、新品種のお米の特徴（食感と味）についてどのように話していますか。

（今までの宮城のお米にはない）もちもちした食感で甘みが強い。